

〈 格付「A+」継続取得 〉

当組合は、令和6年5月に格付機関である株式会社日本格付研究所(JCR)より長期発行体格付「A+」(シングルAプラス)、格付の見通し「安定的」を継続取得しました。

1 格付機関 株式会社日本格付研究所(JCR)

2 格付対象 長期発行体格付

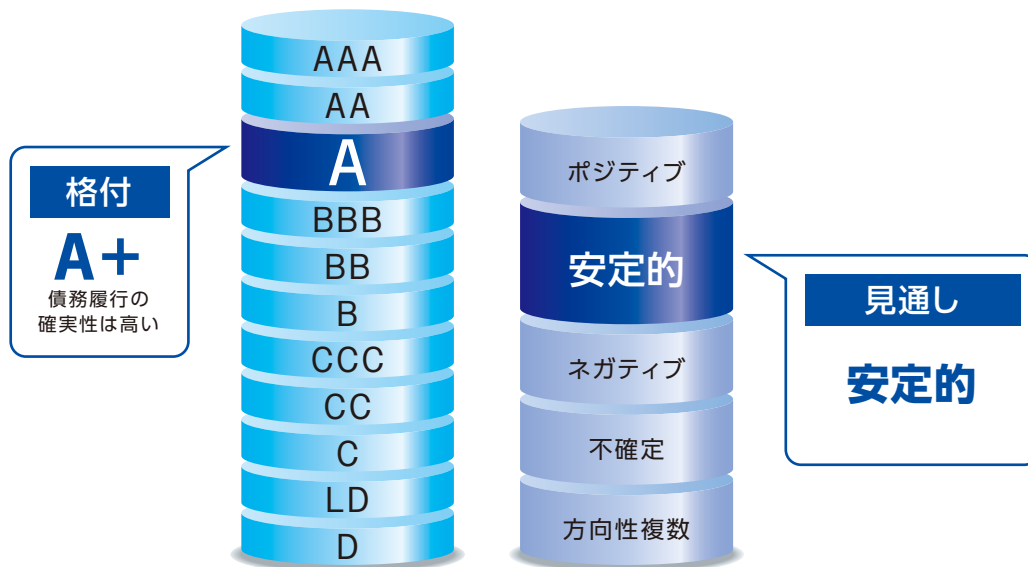
※長期発行体格付とは、債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

3 格付 A+(シングルAプラス) 見通し「安定的」

※A(シングルA)は、株式会社日本格付研究所の11段階の格付等級の上から3番目にあたります。
※格付の見通しは、長期発行体格付が1～2年の間にどの方向に動き得るかを5つに区分して示すものです。

4 取得の目的

外部からの客観的な評価である格付を取得し、お客さまや組合員の皆さまにディスクローズすることで、透明性をもった経営を進め、財務内容の健全性をより理解していただき、信頼性を高めることを目的としています。



参考:JCR長期発行体格付の定義

- | | |
|---|---|
| AAA 債務履行の確実性が最も高い。 | CCC 現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。 |
| AA 債務履行の確実性は非常に高い。 | CC 債務不履行に陥る危険性が高い。 |
| A 債務履行の確実性は高い。 | C 債務不履行に陥る危険性が極めて高い。 |
| BBB 債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。 | LD 一部の債務について約定どおりの債務履行を行っていないが、その他の債務については約定どおりの債務履行を行っているとJCRが判断している。 |
| BB 債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。 | D 実質的にすべての金融債務が債務不履行に陥っているとJCRが判断している。 |
| B 債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。 | |

※AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、+(プラス)もしくは-(マイナス)の符号による区分があります。